



下流親水公園にヒガンバナが咲きました!



9/17 下流親水公園にて

9月中旬、下流親水公園でヒガンバナが開花しました。ダムを背景に咲くこのヒガンバナは、半年前に移植したものです。

まだ寒さの厳しかった3月7日、長瀬親水公園から鱗茎（球根）を採取し、3月13日に下流親水公園で移植作業を行いました。

それから半年。9月に除草を行い、お彼岸が近づいた頃からは移植場所をロープで囲って保護をし、見守ってきました。

今年はまだまばらな開花状況でしたが、将来的には右の写真の場所のように、下流親水公園ののり面もヒガンバナで真っ赤になるよう、環境整備を続けていきます。



9/28 名張市黒田にて



3/7 球根を採取



3/13 移植作業



9/4 ロープで保護



枯れ野原の中で青々としているこれが、ヒガンバナの葉。ヒガンバナは、他の植物が枯れる冬に葉を茂らせ、春になると枯れてしまうちょっと変わった植物です。



これがヒガンバナの鱗茎です。日本のヒガンバナは三倍体といって、滅多に種子がつかみません。古代に中国から持ち込まれ、人の手で増やされたと言われています。

比奈知ダム下流親水公園平面図

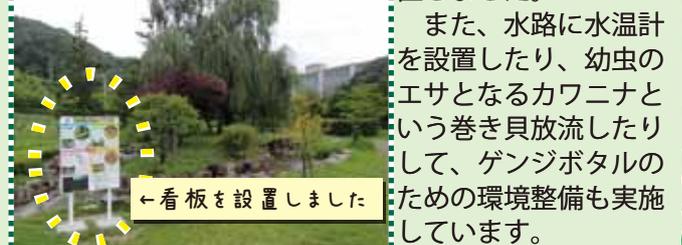


★…ホタル看板設置場所

■…ヒガンバナ移植場所

ホタルのための環境整備も実施中

下流親水公園内のせせせらぎ水路にはゲンジボタルの幼虫が生息しています。比奈知ダムでは、下流親水公園内の2カ所に、ゲンジボタルについての看板を設置しました。



←看板を設置しました

また、水路に水温計を設置したり、幼虫のエサとなるカワニナという巻き貝放流したりして、ゲンジボタルのための環境整備も実施しています。

◎この新聞は、『少しでも環境に優しくできることはないか』と考え、『できることからやってみよう!!』と、私達が取り組んでいることを自己啓発も兼ねて皆さまに紹介しています◎

